

社会福祉法人 近江ちいろば会 ふれあいの家 おしどり

おしどり ふれあいだより

第93号 (2018年8月号)

〒520-3244 湖南市サイドタウン3丁目 15-18 社会福祉法人 近江ちいろば会 ふれあいの家 おしどり TEL (0748)

TEL (0748) 74-0005 /FAX 74-0403 E-mail oshidori@chiiroba.jp

地域の介護予防活動

「ふれあいの家おしどり」は"潤滑油"

「ああ・・知ってるとこに行けるから **ホッとしました!**」 この言葉と一緒に A さんから安堵の表情が浮かびました。A さんは 介護認定の更新で、今まで通いなれたデイサー ビスから移動することになりました。A さんは 担当のケアマネジャーさんの提案を聞きなが ら「同じ移るなら、知らない場所に行くよりも 前から知っている所に行こう」と考えられ、「ふ れあいの家おしどり」の活動に参加されていた 縁で、「デイケアの家おしどり」を利用すると 決められました。今まで慣れ親しんだ場所へ行 けなくなった淋しさに加え、新しい場所に行か なければならないかもしれないという不安の 中におられたAさんからは、この決断によって 安心し安堵の表情が感じられました。おしどり 側としても、存在が安心につながり心の安定に つながったことは、とても嬉しいことでした。



私達にとって環境が変わることは大変なことです。人は誰でも様々な環境の変化を経験してきています。子供の頃の進学・進級・転校や、引っ越し・就職・結婚・転勤・転職・趣味活動への参加などなど。そのたびに「今度のところはどんな所やろ?」「みんなと仲良くなれる方となるかなあ?」といった不安も膨らみ、それらにならってきました。地域の高齢者の方もそんなり返し、今の住み慣れた生活にたどり着かれたはずです。80年90年生きてきて、もうこの先そんな変化などないと思っていたら・・。

介護保険制度では、A さんのように環境の変化が必要となることがあります。それは介護認定を受けた時、介護度が変わった場合などです。その時々に合ったサービスを探し、新しい環境に慣れていくというのは、高齢者にとって精神的負担が大きいことでしょう。





健康教室と「歌おう会」

現在、近江ちいろば会には「おしどり」と名のつく4つの事業・活動があります。その4つが互いに交流を持ち、それぞれ介護度や利用目的に応じて存在しています。前述のAさんの場合に感じたように、大きな変化を心配しなければならない場合にも、安心・安堵につなげることができます。その中で、地域の介護予防活動としての「ふれあいの家おしどり」は、地域と他の3つのおしどりをスムーズに結びつける"潤滑油"となっています。

「住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らす」ことが在宅介護の大きなテーマです。「ふれあいの家おしどり」の活動がきっかけとなって、ご本人が通いなれた場所・知った人のいる所へ安心して次の環境を選択できる・・「ふれあいの家おしどり」はそんな存在でありたいです。

おしどり ミニコンサート





総合事業 & 「デイケアの家」 合同学びの会

4つの「おしどり」 それぞれがお互いに密接に交流しています。

:	社会福祉法人 近江ちいろば会	利用できる介護度・状態				
サイドタウンにおける事業・活動		要介護	要支援 1, 2	要支援 1, 2	総合事業	介護度なし
		1~5	(入浴あり)	(入浴なし)	対象者	(自立の方)
介護	デイケアの家 おしどり (地域密着型デイサービス)	0	0	_		
保	ゆめとまの家 おしどり	0	0	0	0	_
険	(地域密着型デイサービス)					
事業	総合事業 ふれあいの家 おしどり	_	_	0	0	_
保険外	地域の介護予防活動 ふれあいの家 おしどり	_	_	_	_	0

おしどり 4コマ劇場 その64.名前が覚えられない

